

企画監修：NHK文化センター

好奇心の、その先へ
NHKカルチャー



西洋美術史講師 矢澤佳子先生同行

プラド美術館じっくり鑑賞と サンティアゴ・デ・コンポステラ他7日間



《講師 矢澤佳子先生プロフィール》

やざわけいこ。西洋美術史講師。フランス国立ルーヴル学院(Ecole du Louvre、パリ、ルーヴル宮。フランス文化庁所管。フランスにおける美術史・美術館学の最高峰)にアジア圏から異例の合格を果たす。専門はキリスト教・神話・文学・寓意の図像学(主題・内容の読み解き。専門首席卒業)。美術作品の読み解きを行う講義を各所にて実施。NHK文化センター関東・中部・関西の各教室(青山・町田・名古屋・梅田・京都・神戸他)および配信にて「名画を読み解く」講座出講。わかりやすい講義で人気。「ルーヴル美術館特別解説」ツアー他、随行・解説多数

★同行講師より「旅のお勧め」★

「名画を読み解く」講座には多くの方にご受講をいただき誠にありがとうございます。プラド美術館を取り上げる全11回の講義(関東では現在実施中)において詳細に分析した至極の名品群を時間をかけじっくりと鑑賞いたしましょう。このたびは中世からの歴史ある巡礼地サンティアゴ・デ・コンポステラを訪れることもできる旅をご提案できることになりました。皆様と分かち合いたい内容は旅程表に示しております。このたびも多くの方のご参加を願っております。どなた様もご参加歓迎です。 矢澤佳子



ボス「快樂の園」*プラド美術館

ベラスケス「ラス・メニーナス」*プラド美術館



*サンティアゴ・デ・コンポステラ

*エル・エスコリアル

*エル・エスコリアル「図書室」

§ 旅行期間 2024年4月12日(金)～4月18日(木)羽田空港発着7日間

§ 旅行代金 お1人様 779,000円

§ 旅行企画・実施 株式会社日放ツーリスト

旅のポイント！

- ◆矢澤佳子先生のオリジナリティに溢れる旅！ 先生のお話や解説を交えながらの美術鑑賞。プラド美術館等の美術館内ではイヤホンを使用して判り易く解説致します。
- ◆「プラド美術館」はゆっくりと1日半＝3クール（スペイン絵画 / イタリア・オランダ・ドイツ絵画 / 北方絵画）のテーマに沿った解説のもと、じっくりと鑑賞いただきます。
- ◆スペインを代表する4箇所の世界遺産を巡ります。（マドリッド中心部プラド通りからレティーロ公園/サンティアゴ・デ・コンポステラ/トレド/エル・エスコリアル）
- ◆宿泊はマドリッド市内のメリアマドリッドプリンセサホテルに5連泊します。ホテルの移動が無いので、旅の疲れも軽減されます。
- ◆安心の全食事付。一般的な団体ツアーよりクオリティーの高いメニューをご用意しています。

★旅行募集要項★

- 旅行期間：2024年4月12日(金)～4月18日(木) 5泊7日（機中1泊）
- 発着地：羽田空港発着 *地方よりご参加の場合はお気軽にご相談ください。
- 旅行代金：**お1人様¥779,000(2名一室利用)** ●一人部屋追加料金 ¥110,000
- ※旅行代金には羽田空港施設使用料・欧州内空港税・燃油特別付加運賃・航空保険料・国際観光旅客税は含まれておりません。（2023年11月時点の参考価格＝合計86,310円）
- なお、この金額は航空券発券時の為替レート、燃油価格により変動します。この料金は最終のご請求書にて一括請求させていただきますので予めご了承下さい。
- 募集人員：20名様 ■最小催行人員：15名様
- 募集受付開始日：**2023年12月25日(月) AM10:00より** *左記期日前の申し込みは受け付け出来ませんので予めご了承ください。
- 募集締切日：2024年2月9日(金) 但し、**満席になり次第締め切らせて頂きます。**
- 添乗員：羽田空港よりご帰国羽田空港まで1名同行いたします。
- 利用航空会社：エールフランス航空エコノミークラス *ビジネスクラスをご希望の場合はお問合せください。
- 食事：朝食5回、昼食5回、夕食4回 *機内食を除く
- 利用予定ホテル：メリアマドリッドプリンセサホテル(4星クラス) 2名1部屋利用
- 集合・解散場所：羽田空港ターミナル3（羽田空港国際線旅客ターミナル）
- 企画監修：NHK文化センター 青山教室
- 申し込み方法：申込書をご記入いただき、(株)日放ツーリストへFAXか郵送かメールにてお送りください。携帯電話にてQRコードをより入力いただきお送りいただくことも出来ます。
- ※2024年7月18日まで有効でない場合は、旅券申請手続きをお願いいたします。

★プラド美術館の鑑賞予定作品★

(他にも多数の有名作品がご覧になれます)

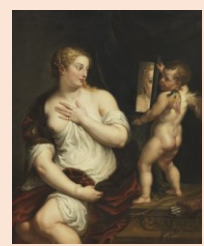


※上記鑑賞予定作品(ワケノ美術館・ティツェン・ボルミネツサ美術館の作品含む)は美術館の都合や諸事情によって鑑賞出来ない場合もございます。

★トレド(エル・グレコ)鑑賞予定作品★



**★ティツェン・ボルミネツサ美術館
鑑賞予定作品★**



**メリア マドリッド プリンセサホテル
(Melia Madrid Princesa Hotel)**

メリアグループの4つ星デラックスホテル。マドリッドの中心、プリンセサ通りに面しており何をすることも便利なロケーションで、グランビア、スペイン広場や王宮も徒歩圏内です。



★旅程表★

	月日曜	都市名(発/着)	時刻	交通機関	摘要	食事
1	2024年 4/12 (金)	羽田空港 羽田空港 パリ着 パリ発 マドリッド着	7:00 9:05 16:50 20:55 23:10	AF163 AF1400 専用車	<p>■羽田空港ターミナル3 (羽田空港国際線旅客ターミナル) 集合 ■羽田空港より空路、エールフランス航空機にてパリへ。 ■パリ到着。乗り継ぎ ■エールフランス航空機にてマドリッドへ ■マドリッド着。ホテルへ</p> <p style="text-align: right;"><マドリッド泊></p>	× 機 機
2	4/13 (土)	トレド	終日	専用車	<p>トレドは16世紀、スペイン国王フェリペ2世が首都をマドリッドに移すまで、スペインの政治・経済・文化の中心であった長い歴史が凝縮された街。スペイン・カトリックの首席聖職者は現在に至るまでトレド大司教。スペインの宗教的中心地でもある街です。またスペインの人々が誇りをもって自国の画家と考えるエル・グレコが根を下ろした場所。スペインの歴史とエル・グレコの足跡をたどります。</p> <p>■サンタ・マリア・デ・トレド大聖堂 スペイン・カトリックの最も権威ある大聖堂。その歴史は西ゴート族がこの地に首都を置いた6世紀に遡ります。現在の建物の建設開始は13世紀。約250年をかけて完成し、スペイン・ゴシック建築の最高峰と言われる壮麗な聖堂です。主祭壇、「トランスパレンティ」、エル・グレコ「聖剣刺奪」、「十二使徒」他を所蔵し絵画館の様相を呈する「聖具室」など見所満載です。時間をかけて鑑賞します。</p> <p>■サント・トメ教会 エル・グレコの最高傑作とみなされる「オルガス伯の埋葬」は、この教会の司祭により篤信の支援者であった人物に敬意を表し依頼されます。現在も同教会の至宝として大切に所蔵されるこの重要作品を鑑賞します。</p> <p>■エル・グレコ美術館 エル・グレコが生きた時代の家を忠実に復元しその頃の生活の様子を知ることができる貴重な場所です。アトリエ・書斎・寝室・台所が再現されます。「トレドの景観」、「十二使徒」の連作、「聖ペトロの涙」が見られます。ムリリオ、スルバランなど他の画家の作品も見られます。 ※昼食・夕食(またはいずれか)：トレドの名物料理をお召し上がりいただけます。</p> <p style="text-align: right;"><マドリッド泊></p>	朝 昼 夕
3	4/14 (日)	マドリッド発 サティアゴ・デ・ コボア 着	早朝 7:15 8:35	専用車 IB570 専用車	<p>空港へ イバリア航空国内線にてサティアゴ・デ・コンポステラへ サティアゴ・デ・コンポステラは、中世から多くの巡礼者たちが目指した、ローマ、エルサレムと並ぶキリスト教の三大巡礼地の一つ。巡礼者たちの姿は多くの美術作品に描かれます。キリストの最重要の弟子「十二使徒」の一人であり、最初の四人の弟子の一人聖大ヤコブの亡骸が眠る地です。多くの人々を駈り立てた巡礼とはいかなるものか、長い旅路の最終地点を訪れます。</p> <p>■オブライドロ広場 大聖堂を正面から眺める広場。長い巡礼路を歩き終えた巡礼者たちが感無量で大聖堂を見上げる場所です。</p> <p>■大聖堂(ミサ) 巡礼の旅の終着地点。聖大ヤコブが眠り、巡礼者たちが祈りを捧げる場所です。建物の建設開始は11世紀。約135年をかけて完成したロマネスク様式の大聖堂です。素朴さと力強さを感じさせる彫刻群は見所です。「栄光の門」はロマネスク芸術の傑作です。聖人は地下礼拝堂に眠ります。中央祭壇は金できらびやかに装飾されます。巡礼者たちは聖ヤコブの像にロクついて抱擁します。ミサ見学、巨大吊り香炉「ポタフメイロ」が振られる様を見られれば幸運です。</p> <p>■大聖堂博物館 大聖堂ゆかりの貴重な遺産が保存されます。「石造りの聖歌隊席」、「聖大ヤコブの生涯を描いたレタフロ」、「中庭噴水」、「銀製ポタフメイロ」他大聖堂の歴史を語る品々がご覧いただけます。</p> <p>■旧市街 サティアゴ・デ・コンポステラは街全体が世界遺産。迷路のような石造りの町並み。中世の歴史を感じさせる町並みの中を散策します ※昼食・夕食(またはいずれか)：ガリシア地方料理をお楽しみいただけます。。</p> <p>イバリア航空国内線にてマドリッドへ ホテルへ</p> <p style="text-align: right;"><マドリッド泊></p>	朝 昼 夕
4	4/15 (月)	マドリッド	午前	専用車	<p>プラド美術館は、大帝国を築いたスペインがその富と権力で手に入れた膨大な絵画作品を核とし、名だたる巨匠の名品を集める世界で最も魅力的な美術館の一つです。たっぷり時間をかけて鑑賞します。</p> <p>■プラド美術館解説付き見学①(現地ガイド・講師が解説いたします) 【スペイン絵画】エル・グレコ、ホセ・デ・リベラ、ベラスケス、ムリリオの作品をご覧いただけます。「ドレーニャ・マリア・アラゴン学院祭壇装飾作品群(受胎告知他)」、「聖フィリポの殉教」、「ヤコブとイサク」、「ラス・メニナス」、「フレダの開城」、「十字架にかけられたキリスト」、「アラクネの寓話(織女たち)」、「小鳥のいる聖家族」、「無原罪の御宿り」、「貝殻の子供たち」他</p> <p>■プラド美術館解説付き見学②(現地ガイド・講師が解説いたします) 【イタリア絵画・オランダ絵画・ドイツの絵画】フラ・アンジェリコ、コレッジョ、カラヴァッジョ、ティツィアーノ、ティントレット、ヴェロネーゼ、ティエポロ、レンブラント、テューラーの作品をご覧いただけます。「受胎告知」、「我に触れるな」、「タヴィテとゴリアテ」、「愛の女神礼賛」、「アンドロス島の人々」、「ウェヌスとアドニス」、「タナエ」、「弟子たちの足を洗うキリスト」、「水から救われるモーセ」、「無原罪の御宿り」、「ユディット」、「アダムとイヴ」他</p> <p>■プラド美術館自由見学 ゴヤ「裸のマハ」、「着衣のマハ」、「我が子を食らうサテュルヌス」他をご覧ください</p> <p>■サン・ミゲル市場とマヨール広場 スペイン中の食材が集まる活気あふれるおしゃれな市場。野菜や果物、魚介類に、ワインやイベリコ豚の生ハム、惣菜やデザートなどあらゆるものが並びスペインの食の魅力が凝縮された場所。中世に街の市場が置かれその後街の中心的広場となり数々の行事の舞台となった歴史あるマヨール広場の賑わいもお楽しみいただけます。 ※昼食：プラド美術館内「カフェプラド」にてお召し上がりいただけます。</p> <p style="text-align: right;"><マドリッド泊></p>	朝 昼 夕
5	4/16 (火)	マドリッド	午前	専用車	<p>■王宮 歴代スペイン国王が暮らした宮殿。旧王宮は18世紀に全焼。同じ場所に新たに宮殿が建てられます。現国王夫妻が暮らすのは別の宮殿。重要行事で使われた場所、壮麗な建築・装飾をご覧ください。</p> <p>■ティツェン・ボルミネッサ美術館 マドリッドの三大美術館の一つ。個人のコレクションとしてはイギリスエリザベス女王のものに次ぐ第二のボリューム。意外な名品を所蔵します。最大の見所はカラヴァッジョ「聖女カタリナ」、ルーベンス「鏡を見るヴィーナスとキューピッド」。ファン・デル・ウイデン、ドゥッチオの作品も注目です。</p> <p>■プラド美術館見学③(現地ガイド・講師が解説いたします) 【北方絵画】ボス、ファン・デル・ウイデン、パティニール、プリューゲル、ルーベンスの作品をご覧ください。「七つの大罪と人間の最後の四つの段階」、「乾草車」、「快樂の園」、「十字架降架」、「冥府の川を渡るカロン」、「荒野の聖ヒエロニムス」、「死の勝利」、「トゥーレ・デ・ラ・バラダの神話画群」、「五感の寓意」他</p> <p>■プラド美術館自由見学 講義で取り上げた作品、見返したい作品など。プラド美術館の名品を自由にご覧ください。カフェテリアでの休憩、緑豊かなレティーロ公園散策をお楽しみいただくことも可能です。 ■最後の夜はディナーの後またはディナーとともに、情熱のフラメンコショーをお楽しみいただけます。</p> <p style="text-align: right;"><マドリッド泊></p>	朝 昼 夕
6	4/17 (水)	エル・エスコリアル	午前	専用車	<p>エル・エスコリアルは国王フェリペ2世の命令により建てられた壮大な複合施設。修道院・王宮・聖堂・図書館を有し王家の霊廟でもある場所。スペインの最も重要なルネサンス期建造物と位置づけられます。「太陽の沈まぬ帝国」と言われた時代の国力、厳格なカトリックの信仰を見ることがのできる場所を訪れます。全体が芸術の宝庫です。</p> <p>■図書館 長さ54m、幅9m、高さ10m。15・16世紀の45000冊の蔵書を有し世界で最も重要なもののうちに位置づけられます。天井には文法、論理、修辞、算術、幾何学、音楽、天文学の「自由七学芸」を題材とした装飾が描かれます。</p> <p>■聖堂・霊廟 フェリペ2世が祈りを捧げた場所。父カルロス1世(神聖ローマ帝国皇帝カール5世)、フェリペ2世自身、ベラスケスが仕えたフェリペ4世もここに眠ります。</p> <p>■宮殿跡 エル・グレコ、ベラスケス、ボス、パティニール、ティツィアーノの作品をご覧ください。 マドリッド空港へ エールフランス航空にてパリへ 乗り継ぎ エールフランス航空にて帰国の途へ</p> <p style="text-align: right;"><機内泊></p>	朝 昼 機
7	4/18 (木)	羽田空港着	18:30		<p>■羽田空港ターミナル3 (羽田空港国際線旅客ターミナル) 到着、お疲れ様でした</p>	機 × 機

※上記日程は天候・今後のコロナ状況・現地事情・交通事情等により変更になる場合もございます。また航空会社の都合により発着時間の変更や集合時間の変更になる場合もございます。

※上記鑑賞予定作品は美術館の都合や諸事情によって鑑賞出来ない場合もございます。